

雜 錄

終戰後本邦鐵鋼生產情況 (I)

(鐵鋼連盟調)

(會計年度)

(單位噸)

	銑		鐵	鋼		塊
	普通銑	其他銑	計	平爐	電氣爐	計
昭和 20 年 全年	468,992			610,262	456,714	1,066,976
21 年	152,462	65,516	217,978	208,434	439,717	648,151
22 年	294,160	102,861	397,021	609,130	492,634	1,101,764
23 年	851,832	148,231	1,000,063	1,465,730	621,206	2,086,936
24 年	1,494,880	192,697	1,687,577	2,823,149	652,264	3,475,413
25 年	2,167,053	266,097	2,433,150	4,468,459	829,282	5,297,741

(其の一)

	普通鋼 壓延鋼材										
	大形			中形			小形		厚板	薄板	鋸力
	軌條及 タイプレート	形鋼	棒鋼	軌條及 繼目板	形鋼	棒鋼	形鋼	棒鋼			
昭和 20 年 全年	16,351	8,336	20,255	7,577	7,190	32,694	1,393	74,112	88,031	43,273	8,169
21 年	19,417	1,788	462	7,845	4,253	8,414	171	46,918	41,873	47,576	3,654
22 年	27,230	1,987	3,508	12,727	10,733	5,747	3,382	48,307	99,543	110,186	7,524
23 年	61,014	25,852	1,752	23,337	36,143	27,420	9,721	134,541	246,705	235,280	18,881
24 年	134,187	81,846	4,110	31,904	124,032	35,692	12,128	251,176	504,780	438,473	36,580
25 年	189,946	122,360	4,623	27,972	193,945	42,501	22,573	412,953	912,707	649,397	78,605

(其の二)

	普通鋼 壓延鋼材								
	高級仕上 鋼板	珪素 鋼板	線材		筒管	外輪	帶鋼	其他	計
			普通	特殊					
昭和 20 年 全年	3,336	9,456	27,889	12,524	32,179	4,925	2,314	418	400,422
21 年	2,091	7,785	41,008	15,077	49,777	16,382	7,115	4,864	326,470
22 年	4,489	19,235	78,093	28,127	73,442	16,457	24,488	2,403	577,608
23 年	15,229	30,118	123,782	54,138	124,876	21,789	37,457	2,469	1,230,504
24 年	17,745	34,265	221,261	66,534	187,815	11,740	64,099	4,582	2,262,949
25 年	32,272	36,480	390,274	61,852	258,891	22,872	109,594	10,647	3,580,464

終戰後本邦鐵鋼生產情況 (II)

(鐵鋼連盟調) (曆年)

(單位噸)

	銑		鐵	鋼		塊
	普通銑	其他銑	計	平轉爐	電氣爐	計
昭和 26 年 計	2,886,860	240,058	3,126,918	5,570,394	931,455	6,501,849
27 年 計	3,217,693	202,511	3,474,204	6,039,364	948,995	6,988,359
28 年 1 月	304,463	9,652	314,115	470,842	55,109	525,951
2 月	289,486	8,492	297,978	473,289	46,848	520,137
3 月	331,950	17,001	348,951	559,661	82,189	635,850
4 月	331,660	15,647	347,307	539,045	88,615	627,660
5 月	348,026	20,989	369,015	552,779	98,491	651,272
6 月	357,508	20,948	378,456	543,218	96,659	639,877
7 月	396,408	19,262	415,670	583,324	102,594	685,918
8 月	391,752	21,879	413,631	570,941	96,133	667,074
9 月						
10 月						
11 月						
12 月						

(其の一)	熱 間 歴 延 鋼 材										
	形 鋼						棒 鋼			管 材	線 材 普 通
	重軌條	輕軌條	大 形	中 形	小 形	その他	大 形	中 形	小 形		
昭和 26 年 計	144,007	22,832	226,060	244,841	42,352	12,284	15,085	70,258	89,213	266,769	427,086
昭和 27 年 計	234,950	33,684	149,336	202,213	45,729	9,459	12,093	80,282	674,338	264,333	372,587

(其の二)	熱 間 歴 延 鋼 材							冷 間 仕 上 鋼 材			
	線 材 特 殊	帶 鋼	厚 板	薄 板	珪素鋼板	外 輪	計	高級仕 上鋼板	フリキ	筒 管	
昭和 26 年 計	84,616	198,813	115,285	993,302	46,521	26,060	4562,538	46,699	92,480	287,123	
昭和 27 年 計	80,504	172,788	141,060	832,462	35,073	18,612	4637,503	33,021	86,431	292,662	

註. 掲上數字は、ミスプリントの訂正及メーカーよりの報告訂正等がありますので、總べて最近號のものが正確です。

	熱 間 歴 延 鋼 材											
	重軌條	輕軌條	シート パイル	形 鋼			リムリン グパー サツシュ パー	棒 鋼			管 材	スケルブ
				大形	中形	小形		大形	中形	小形		
昭和28年 1月	12,957	2,157	598	8,423	19,672	3,954	1,286	1,054	4,791	40,264	23,014	1,562
2月	19,690	3,489	1,951	8,815	26,764	3,352	1,507	1,593	8,099	35,852	24,020	3,088
3月	25,248	3,378	1,947	14,476	28,059	6,383	1,486	526	7,713	48,758	24,821	3,303
4月	27,061	3,099	782	11,757	28,215	6,351	1,271	1,803	8,298	50,802	26,614	2,541
5月	25,415	3,481	3,777	13,331	27,420	5,866	1,473	967	6,542	56,938	23,868	4,407
6月	22,478	2,848	3,310	15,366	21,888	5,998	1,547	3,239	8,164	55,262	24,720	5,089
7月	22,819	3,073	2,599	15,908	22,870	5,693	1,725	2,056	5,781	59,833	22,702	4,006
8月	19,236	2,566	1,223	18,038	25,402	5,041	1,766	717	6,868	66,085	15,203	3,611
9月												
10月												
11月												
12月												

	熱 間 歴 延 鋼 材									冷 間 仕 上 鋼 材			
	線 材		帶 鋼	厚 板	中 板	薄 板	廣幅帶鋼	珪 素 板	外 輪	合 計	鋼 管	フリキ	高級仕 上鋼板
	普 通	特 殊											
昭和28年 1月	26,873	6,226	14,332	84,519	17,068	50,035	12,379	2,722	1,590	335,476	20,982	7,343	2,501
2月	27,475	8,203	15,814	91,824	19,757	52,155	14,890	2,921	1,138	372,397	30,122	7,997	2,467
3月	30,832	9,706	19,560	103,011	33,195	62,820	16,133	4,287	1,556	447,198	39,406	7,156	3,093
4月	33,890	10,514	18,921	93,719	33,902	58,694	17,140	4,534	1,401	441,309	34,972	8,563	3,439
5月	34,068	10,674	21,279	96,150	32,474	55,597	19,096	5,291	1,716	449,830	34,351	10,284	3,556
6月	29,960	9,778	22,893	83,390	30,614	61,762	19,938	7,029	1,474	436,747	34,648	11,529	4,151
7月	33,814	8,175	22,902	82,174	31,766	62,822	19,273	7,496	2,686	440,173	35,937	11,289	4,564
8月	34,219	9,206	26,797	89,589	27,824	56,422	19,667	6,247	2,967	438,699	33,416	10,194	4,519
9月													
10月													
11月													
12月													

備考. 昭和 28 年 1 月より、歴延鋼材の品目を上記の如く改む。

本號に記載すべき昭和 28 年 9 月分の數字は集計未了につき次號に掲載す。

—— 鐵鋼 ニ ュ ー ス ——

万国工業會議の開催計畫

日本工学会では、創立 75 周年を記念し 20 数年振りで明後昭和 30 年に第 2 回万国工業會議をわが国において開催する案を立て、去る 7 月より検討していたが、この程この計画の実現を強力に推進することになったのである。これは先に日本工学会の創立 75 周年を機会としてアジア工学工業大会を明年秋に開催する予定で立案したのであつたが、アジアと地域を限定すれば十分な資料や論文が集り難い点もあり、更に準備も十分出来ないきらいもあるので昭和 30 年に行つた万国工業會議の第 2 回目として明後年に開催することになったものである。この會議は官民一体となつて工学並びに工業関係で開催し、世界の工業技術者と工業経営者との親睦を密にすることが狙いとなつている。所要資金はかなりの巨額に達するものといわれるが、世界の有名な技術者や経営者が多数来朝し、貴重な発表や交歓を行うことは、わが国の工業発展に大いに貢献するものと期待されている。

三島博士の歸國

東京大学名誉教授三島徳七博士（前本協会々長）夫妻は、かねて歐洲における MK 磁石鋼の特許実施権を持つ西独のロバート・ボッシュ社とそのサブライセンスを持つ各国の会社から招聘されて渡歐、ボッシュ社を中心に独、仏、英、スエーデン、スイス各国の技術交歓と視察の旅を終え、10月4日3ヶ月目ぶりに歸國した。博士は又9月下旬パリで開かれた国際鑄物学会大会にも出席した。

砂鐵鑄工業振興促進協議會の發足

未利用国内資源として放置されている砂鉄の活用促進のため、砂鉄生産県を中心に、採掘、消費関係者を一丸として結成準備を進めていた砂鉄鑄工業振興促進協議會は9月16日創立總會を開き、役員を選任した後、砂鉄鑄工業の振興促進懇談會の開催、精鍊工業に対する割当電力の増加、砂鉄運賃の引下げ等を当面の事業計画として決定した。

28年度鉄鑄生産新記録か

28年度鉄鑄生産見込は、通産省調では高炉鉄 420 万t 特殊鉄 23 万t、計 443 万t であつたが、上半期を經過した生産実績から見ると、高炉鉄は 450 万t、特殊鉄を併せて 470 万t に達するものと見られるに至つた。即ち鉄懇話會の調査によると、28年度第 1 四半期の実績は高炉鉄 1,037,194t 特殊鉄 57,584t、計 1,094,778t。第 2 四半期は高炉鉄 1,160,000t 特殊鉄 55,000t 計 1,215,000t さらに第 3 四半期は高炉鉄 1,167,000t、特殊鉄 38,000t 計 1,205,000t が見込まれている。したがつてこの儘の形勢で推移すると年間生産高は高炉鉄で 4,500,000t 特殊鉄を合わせて 4,700,000t に達することが確定視されるわけである。これは戦前戦後を通じて最高のものである。このように生産の増加した理由は、製品市況の好転による需要増に基く平炉鑄塊の増産と、屑鉄事情による混鉄率の上昇、さらには鑄物需要の増大によるものとされている。

光製鐵所の新設

八幡製鐵 K.K. では、かねて山口県光市の旧海軍工廠跡に光製鐵所の新設を計画していたが、この程大蔵省から同敷地の払下を許可されたので、10月5日同所で起工式を行つた。光製鐵所は 38 万坪の敷地と 45 億円の資金計画により工事を進めることになつたもので、工期は約 2 年間で予定しており、設備としては最新式の連続式線材圧延設備をドイツより輸入新設し、又高級鋼板設備を入幡から移設することになつている。この計画完成後順調な稼働に入れば、線材 5mm 小棒 9 乃至 16mm のものが月々 12,000t 宛送り出されることになり、又高級鋼板、中板、縞鋼板は月産 1,900t が造られる予定である。

神鋼高砂工場の開所

K.K. 神戸製鐵所では、かねて旧海軍掃磨造兵廠の払下げを受け、これが活用整備のため、25 億 5 千万円の巨費を投じてこれが実施を計ることとなり、11月20日高砂工場として新発足することになった。同所には旧海軍が使用した 5,000t プレス 2 基、1,000t プレス 1 基その他塩基性平炉など多数の設備を持つている。

— 研究部會記事 —

第 23 回製鋼部會 1. 日時: 昭和 28—6—4(5). 2. 場所: 日本鋼管川崎製鉄所. 3. 出席者: 小林部会長外委員及隨員並に幹事等 49 名. 議事概要: a) 優良低炭素鋼製造法の研究では鋼管鶴見—江頭, 釜石—三村, 八幡—石原各委員からその提出資料によつて夫々説明があり. b) 燃料の合理的使用法の研究については住友鋼管—谷口, 八幡相原各委員の資料説明これに対する質疑応答があり, また小倉—松永, 川鉄兵庫—池田の説明が行われた. c) 銑鉄配合率に関する研究では富士室蘭—都築, 川鉄葦合—高田, 鋼管鶴見—皆吉, 八幡—相原, 中山製鋼—福原各委員から夫々資料によつて説明があつた. d) 耐火物に関する研究では川鉄葦合—高田, 神戸—川端, 東都—野口, 住友和歌山—西垣, 八幡—相原, 鋼管川崎—首藤, 八幡—石原, 大和—神戸, 住友製鋼—板倉各氏から夫々の調査報告があつた.

鋼材部會第 8 回分塊分科會 日時: 昭和 28—6—15, 16. 会場: 神戸製鋼所 (神戸) 出席者: 主査委員内川悟君外委員及び隨員並びに幹事等 25 名. 議事概要: 下記議題につき各社はその提出資料について説明を行い夫々質疑応答が行われた. 即ち, 1. 操業調査表, 作業調査表, 2. 疵の名称とその発生原因について, 3. 鋼片の疵の手入状況. 4. ロール軸受に関する研究. 5. ロールガンク軸受の注油方法及びその使用油脂. 6. 均熱炉 (又は加熱炉の除滓方法. 7. 従来の研究資料取まとめについて協議の結果その分類及び担当委員を次の如く決定した.

1) 均熱炉—富士室蘭. 2) 加熱炉—住友鋼管. 3) 二重逆転圧延機—八幡製鉄. 4) 三重圧延機—日本鋼管. 5) 圧延工場附属設備—富士釜石. 6) 管理—川崎製鉄. 7) 検定基準—神戸製鋼. 8) 人員問題—日亜製鋼. 9) 操業調査—富士広畑, 10) Layout—内川主査.

鋼材部會第 8 回薄板分科會 日時: 昭和 28—7—17, 18. 会場: 富士製鉄室蘭製鉄所. 出席者: 主査委員藤本一郎君外委員, 幹事, 臨時出席者等 31 名. 議事概要: 1. エリクセン値に関する研究. 2. 冷間圧延機に関する調査. 3. 焼鈍炉の熱精算, 4. 薄板加熱炉の熱精算. 5. 黒板のフィジティルと圧下率について. 6. Ni 添加によるベアリングメタルの改善について, 等に関し各資料提出者から夫々説明があつた. 次ぎに従来の薄板分科會の研究結果を刊行するに当り報告書取まとめについてその分担を下記の如く決定した.

第 1 章. 熱圧加熱関係 (富士室蘭釜石), 第 2 章. 熱圧圧延関係 (○八幡, 東洋, 日本鋼業). 第 3 章冷圧関係 (富士, 室蘭, 釜石). 第 4 章. 焼鈍関係 (淀川, 大同, ○川崎). 第 5 章. 熱精算関係 (淀川, 大同, ○川崎) 第 6 章. 品質関係 (東都, ○鋼管, 日曹). 第 7 章. 品質管理 (東都, ○鋼管, 日曹) ○印各地区の編集責任者.

潤滑部會第 1 回合成樹脂軸受委員會 日時: 昭和 28—8—10. 会場: 日本鉄鋼連盟會議室. 出席者 (委員会社) 住友鋼管, 日亜製鋼, 日本鋼管川崎, 八幡製鉄, 富士製鉄川崎, 神戸製鋼, スターライト工業, (日立製作所一欠). (幹事) スタンダードヴァキュームオイル, 日本鉄鋼連盟. 議事概要: 1. 鉄鋼連盟幹事より前回潤滑部會の決議によつて本委員會の成立した経過について説明があつた. 2. 部會資料取まとめについて出席各委員から研究の中心となるべき点等について意見が述べられた. 3. 取まとめ各因子間の関係を研究するため「合成樹脂軸受調査表」を決定した. 4. 前項調査表の各項目の内定について討議し訂補を加えた. 5. 整理分担を次の如く定めた. 八幡—八幡分, 富士 (社内)—室蘭, 釜石, 川崎, 広畑分, 鋼管—鋼管川崎, 鶴見, 日特管, 日立水戸, 東都, 新理研平井分. 神戸—神戸, 徳山, 東洋分, 住友—小倉, 鋼管, 和歌山分, 日亜—日亜分, スターライト—合成樹脂軸受の概説を立案する.

外國最近刊行誌參考記事目次

J. Iron & Steel Inst. (1953) Vol. 174, part 3, July

(I) Iron & Steel Inst. Papers

The Apparent Thermal Conductivities of Moulding Materials at High Temperatures. D. V. Atterton. pp. 201~211

Carbide Precipitation, Secondary Hardening, and Red Hardness of High-Speed Steel. Kehsin Kuo pp. 223~228

Microstructural Characteristics of Acid Corrosion in 18% Cr, 8~14% Ni, 3% Mo Steels. H. T. Shirles pp. 242~249

(II) Discuss on Papers

Correspondence on Stress Corrosion. in Cr-Ni Stainless Steels. pp. 218

Correspondence on the Fe-C-Si System. pp. 249~250

(III) Letter to the Editor

A Water-Cooled Pitot Tube for Hot Gases. J. A. Leys pp. 228

(IV) Brit. Iron & Steel Research Assoc.

The Liquidus \rightleftharpoons Solidus Relation in the system Iron-Cobalt in the Range 0~30 Atomic %Co. G. B. Harris & W. Hume-Rothery. pp. 212~218

Diffusion in Metals. A. D. Le Claire. pp. 229~236

Simplified Construction of Heat Balances for the Blast-Furnace Process. S. Klemantaski. pp. 236~241

(V) Iron & Steel Eng. Group

Discussion on Industrial Electric Furnaces. pp. 251~259

Discussion on Electric Distribution in Iron & Steel Works. pp. 260~264

Metal Progress: No. 2, Aug. 1953, Vol. 64

Cold Shaping of Steel by Compression Reaches Commercial Applications. Arthur H. Allen, pp. 65~68

Factors Influencing Cold Extrusion of Steel. H. J. Pessl & H. H. Hauttmann, pp. 69~73

Tools, Lubricants and Steels for Cold Extrusions Tom Bishop, pp. 74~77

Effect of Boron on the Overheating Temperature of Steel. J. Field, pp. 78~83

Plating Waste Treatment. C. F. Paulson, pp. 84~87

Properties and Structure of Titanium After 30-Min. Heating at 1200 to 2000°F: E. Walden & L. A. Dixon, pp. 88~89

100 Engineers Evaluate Atomic Power Plants. Editor of Metal Progress, pp. 97~107

Grinding Carbide Tools with Electrolytic Assistance. Newman W. Thifault & Bertil H. Anderson, pp. 161~180

—No. 3, Sep. 1953, Vol. 64

A Test for Measuring Quench-Crack Sensitivity of Engineering Alloy Steels. R. D. Chapman & Walter E. Jominy, pp. 67~72

Endurance of Helical Springs Related to Properties of the Wire. H. C. Burnett & G. L. Staugaitis, pp. 77~81

Intergranular Corrosion of High-Purity Aluminum. M. J. Lavigne, pp. 84~86

Metal Finishing by High-Vacuum Metallization. George H. Bancroft, pp. 87~90

Units for Measuring variations in Measurements —an Elementary Introduction to Statistics. W. J. Youden, pp. 91~96

Inspection Methods keep Output of Flying Box-cars "on Target" Arthur H. Allen, pp. 97~104

Industrial Use of Radioactive Isotopes. Don. M. McCutcheon, pp. 105~106

Development of Commercial Vacuum Furnaces for Melting Metals and Alloys. James H. Moore pp. 161~166

Stahl und Eisen, Heft 17, 13. August, 1953, 73. Jahrg
Stoffbilanz und Wirtschaftlichkeitsvergleich der verschiedenen Stahlherstellungs-Verfahren.
Krebs, Ernst und Robert Görden: S. 1081

Versuch zur Bestimmung der Reduzierbarkeit von Eisenerzen. Rekar, Ciril: S. 1094

Das Walzen von Halbzeug bei beschränkter Rohstahlerzeugung und umfangreichem Sortenprogramm. Walter, Kruse: S. 1101

—Heft 18, 27 August, 1953, 13. Jahrg

Ausführungsbeispiele elektronischer Steuer- und Regeleinrichtungen für Antriebe an Walzensstrassen in Deutschland. Opitz, Heinz: S. 1141

Neuzeitliche Antriebe und Steuerungen schwerer

- Umkehrstrassen und Kaltwartzwerke. Horst Nüsslin, S. 1148
- Elektronische und magnetische Regelverfahren in Kontinuierlichen und Umkehr-Warmwalzwerken. Lemcke, Gustav, S. 1156
- Die staubfreie Belüftung elektrischer Maschinen unter besonderer Berücksichtigung von Hüttenwerks-Anlagen. Schemmerling, Walter: S. 1162
- Zusammenhang Zwischen Zerspanbarkeit und anderen Werkstoffeigenschaften, Rapatz, Franz, S. 1169
- Blast Furnace and Steel Plant, No. 6 June, 1953**
- Use of Rare-Earth Metals and Compounds in Stainless Melting. C. B. Post & H. O. Beaver. pp. 627~634
- Expanded Blast Furnace Slag for Use as Light Weight Concrete Aggregate. R. W. Willer. pp. 635~638
- The Testing and Development of Basic Refractories for the Open Hearth. L. W. Austin. pp. 639~645
- Some Aspects of Merchant Iron Furnacing. A. J. Macdonald. pp. 646~650
- Review of Iron and Steel Literature for 1952. V. S. Polansky. pp. 651~655
- Mixed Bed vs Two-Step Demineralization of High Pressure Boiler Feed Water. M. E. Gilwood & Dr. C. Calmon pp. 660~674
- August 1953 Vol. 41. No.8
- Youngstown Sheet and Tube Company Increases Service to the Midwest. Charles Longenecker pp. 897~925
- New Hot Strip Mill at Pittsburgh Steel. J. C. Peth & F. E. Fairman. pp. 926~940
- Super-Critical Pressure Boiler to be Built. pp. 942~950
- Iron & Steel Engineer: 30, (1953), June**
- Patent Review. pp. 23~24
- Design and Practices of the Semi-Continuous Hot Strip Mill. H. H. Warnock. pp. 57~61
- The Reversing Hot Strip Mill. A. F. Kenyon pp. 62~75
- Dynamic Painting in Steel Plants. J. K. Seyler pp. 71~72
- The Meaning of Commutator Film. L. D. Cook pp. 74~83
- Castable Refractories in the Steel Mill. J. D. McCullough. pp. 84~93
- AISE Spring Conference Pictorial Review-1953 pp. 94~95
- Lubricants for Drawing Metals. A. A. Brown. pp. 96~104
- Making the Foreman Part of Management. M. Robson. pp. 105~106
- Supervisions Part in Effective Cost Control. A. C. Croft, pp. 107~109
- Inspection Trip of Bethlehem Steel Co., Johnstown Plant. pp. 110
- Adjusting Specific Gravity of Repaired Batteries pp. 113
- Armco Starts Operation on New 80-in Hot Strip Mill at Its Ashland Plant. pp. 115~116
- Brooks Oil Expands Plant Capacity. pp. 120~122
- Recommended Care and Handling of Wire Rope- W. C. Richards. pp. 126~130
- 30, (1953), July
- Patent Review. pp. 25~26
- Rehabilitating a Blast Furnace and associated Equipment. W. C. Daniels. pp. 57~66
- The Magnetic Amplifier in Control Circuits. R. W. Moore. pp. 67~73
- Wide Range Metering of Oxygen in Steel Plants M. S. Gare. pp. 74~82
- High Speed Mills and Their Application to Ferrous and Non-Ferrous Rolling. G. Perrault, Jr. pp. 83~91
- The Pumping, Transmission and Burning of Tar and Pitch. W. A. Pond. pp. 94~99
- Rolling Mill Yield. L.R. Silliman. pp. 103~110
- Hints for Sealing Storage Battery Cells p. 112
- New Safety Hook Block Will Reduce Crane Accidents. pp. 116~118
- Kaiser Steel Dedicates Third Fontane Furnace. p. 118
- 30, (1953), Aug
- Patent Review. pp. 23~26
- Experiences with Oxygen Control in Open

Hearth Flue gases. F. P. Hubbell. pp. 53~58
 Flash Welding and High Speed Cold Reduction
 of Strip Steel for Tin Plate. J. Wargo, pp. 59~64
 Replacements for Palm Oil in Cold Rolling Steel
 R. C. Williams. pp. 65~68
 Program AISE 1953 annual Convention. pp. 69~
 Synchronous Motor Torque Requirements for
 Steel Mill Applications. Dr. W. A. Thomas,
 pp. 73~83
 Trends in Electrical Equipment for Materials
 Handling in the Steel Industry. S. Rifkin, pp.
 84~90
 Production of Aluminium Foil. W. B. Hackett.
 pp. 91~94
 Technical Program of the American Iron and
 Steel Institute. pp. 95~114

Refining Iron by Pure Oxygen. pp. 116
 Pittsburgh Steel Starts New 66-in Hot Strip Mill
 pp. 118~124
 New Silica Refractories Plant built at Windham,
 Ohio. pp. 124~129
 Electric Furnace Challenges Open Hearth. pp.
 130~133
 Hints for Curing Sulphated Batteries. pp. 134~
 136
 Ferromanganese Cleaning Plant Starts up on
 Duquesne Furnace. pp. 136~139
 Metallurgia: July 1953, Vol. 48, No. 285
 Induction Heat Treatment Plant. New EFCO
 Development at Burton-on-Trent. pp. 18~20.
 Metal Casting Methods. IV-Ferrous Ingots. J.
 B. McIntyre. pp. 21~26

工業窯炉

東京大學教授 矢木 榮・東京大學 國井大藏 共著
 工學博士 講 師

A 5 判 650 頁 上製函入 定價 1000 圓

特價豫約募集中!

..... 募集要領

發行予定日 11月30日
 特價期間 12月20日まで
 特 價 900 圓

工業窯炉は工業全般にわたり広く使用されているにかゝらず、その操作方法または改造、設計方法が合理的でない場合が少くない。本書は工業窯炉の操作、設計方法に関して根拠となるべき知識と理論または計算方法を与えることを目的とし、1953年までの新しい研究成果をも応用して執筆されたものであり、最近発展の途上にある化学工学の立場から全般を網羅詳述した。現在窯炉操業その他高温技術に従事する技術者より熱管理を専攻せんとする学生技術者にも絶好の参考書である。

最新刊

高圧ガス工業技術

王田邦平 著 実際工場高圧ガス取扱う人のため必要な知識を詳述し、作業主任者試験問題も収め解答を附した好参考書。
 秦野拓也 著

B 6 判 280 頁
 定價 380 圓

主要目次 爐内の電熱・爐におけるガスの流れ・燃料の燃焼・燃焼装置とその設計・加熱方法及び加熱室の設計計算・熱量回収装置とその方法・熱効率と熱収支・爐における測定法・爐材と築窯の概要・各爐型概論

東京都神田局区内駿河台3の9 振替東京 57035 番

共立出版株式會社